



第  14 号  
星の郷

発行日 平成21年5月1日

発行 社会福祉法人富士宮福祉会  
特別養護老人ホーム星の郷

〒418-0035 富士宮市星山字向原1058

TEL0544-23-3302 FAX0544-24-9564

ホームページ

<http://www.hoshi-no-sato.co.jp>



 岩本山公園でお花見会



## AB ユニット 湧玉 宝永

二十一年になりました。一月はデイサービスにて正月を祝う「ほろ酔い会」が開催され、私達ABでは、スタッフが入所者様方の前で某人気映画の主題歌(崖の上の…)を衣装も揃えて踊りました。利用者皆様より「可愛いね♪」「格好良いね♪」とお褒めの言葉を頂きました。各フロアからの催しにとても喜ばれ、楽しい一日を過ごされました。

二月は節分の豆まきを行い、スタッフが赤鬼・青鬼の格好になり、とても大きい声で「鬼は外！福は内！」と元気良く、豆に似せた新聞を丸めた物を投げて楽しめました。

三月は女性が輝く「雛祭り」をBフロアにて開催し、なんと！スタッフがマンドリンとギターの生演奏をぶっつけ本番で行いましたが、入所者様からの反響がとても良く、拍手喝采でした。また、男性入所者様にお内裏様を、女性入所者様はお雛様に着飾り、記念撮影を行い、皆様の笑顔を頂いてスタッフも幸せです。



今年度、ABフロアでは「家族会の開催とレクリエーションの充実」をテーマにがんばっていきましょうと思います。御家族様とスタッフが意見交換することにより、よりよいケアを提供していきたいと思っています。レクリエーションも次々と新しいものを立案し入所者様の笑顔の絶えないフロアにしていきたいと思っています。



## CD ユニット 貴船 木花



私達フロアでは毎月一度おやつレクを行っております。その名の通り利用者さんと職員が一緒になって、おやつを作るレクリエーションです。三月は今年のシメということでラーメンを(しかも麺から)作りました。早速グループに分かれての麺作り。粉の分量を量って卵と混ぜ合わせます。「わしゃ、目が悪いから目盛りなんか読めないよ。」と言われながらも協力して行いました。食いしん坊のFさんは卵と粉を混ぜながら、そのまま口に入れようとして、周りの利用者さんに止められてしまいました。生地を伸す作業も、そば作りの要領でお手のもの。またいつもは帰りがたがるEさんも時間を忘れて、テキパキと生地をこねてくれて、周りの方にも気を配ってくれたり和気藹々とレクリエーションが出来ました。皆さん長年家事をしてきたので、包丁の使い方も若い職員よりも上手で、いつも感心してしまいます。そんなこんなで出来上がったラーメン。麺は太めでスープは辛めだったけれど、その後も「ラーメン美味しかったね。また食べたいね」と話しが盛り上がり、一つの思い出にはなったのではないのでしょうか。今後も皆さんで楽しいおやつ作りをしていきたいと思っています。



H21年度の目標としては、おやつレクも含めて、日々のレクリエーションを継続していきたいと思っています。グループで出来るものや個別で出来るものなど、楽しく生活できるように考えていきます。フロアの飾りつけや雰囲気作りなども、温かみを感じられるように配慮して、入所者さんが笑顔で生活出来るようにしていきたいと思っています。また御家族様とも、家族交流会や日頃の面会等でお話していけたらいいなと思っています。



## EF 富士 浅間 ユニット



昨年度は、ゲスト様と一緒に季節に合わせた飾りつけを行ってきました。皆と一緒にお話をしながら作っていくことで、色々なアイデアが生まれ、きれいに飾りつけられていくことで、皆様もぜひ喜びを感じています。今年度もぜひ継続していきたいと思っています。

もう一つは、家族会を再会し、ご家族様の協力を仰ぎながら、入所者様にとって安全で安心な、よりよい支援を行っていききたいと思いますので、よろしくお願いたします。

EFフロアでは、三月二十二日の雛祭りに向け雛壇や折り紙で桜の花をレクリエーションの一つとして御利用者様と作成しました。普段居室にて過ごされてしまう利用者様も一生懸命桜の花を作成したり、内裏雛や五人囃子をスタッフと一緒に頑張って一つ一つの細かい作業をしていくていらっしやいました。

作成中には、昔(自宅にいた頃は)、よくお孫さんや曾孫さんにプレゼントをしたと懐かしくお話しをして下さったり、男ばかりだったので嬉しいと言ってお話も聞きました。

雛祭り当日には、入所者様、スタッフ一丸となり、歌を合唱したり、玉入れをしたり、フロア中盛り上がり、大成功しました。

現在EFフロアではレクリエーションに力を入れているので、引き続き四月からもレクリエーションに力を入れ、利用者様と一丸となり、いろんな作品を作成し、EFフロアを明るくしていきたいと思えます。



# 特

## GH 朝霧 白糸 ユニット

節分も終わり、明日は立春、春が来て花々が咲きほこります。お花見を楽しみにしています。

今年度は家族との交流を深めていきたいと思っております。

ご家族様が参加できる行事を企画しご案内いたしますので、都合がございましたら、ぜひ参加をお願いいたします。



すと、いつしよに手をたたかれ見入っております。

フラダンスは、オレンジ色のドレスを身にまとった美人のお姉様方による、すてきなダンスで、男性利用者様、今日は目の輝きが少し違っております。

節分も終わり、明日は立春、春が来て花々が咲きほこります。お花見を楽しみにしています。



二月節分

おにはそと、ふくはうち、今年の鬼は弱そつな青鬼です。鬼に向かって豆を利用者皆で一氣にまくことにより邪気を祓いのけました。また今年一年、病気にならず長生きできます。

そして、福を呼び込むことが出来るように今日は、ボランティアの方々による舞踊とフラダンスの観賞をおこないました。

「柔」の音楽がかかりました。

# デイサービス

一月

二月の行事として、恒例の豆まきを行ないました。

最初に、「豆まき」の歌を、皆で歌いました。「こんな歌あった?」「初めて歌ったよ」という方が多かったです。

また、節分の由来について、皆様にご紹介させていただきました。元来、節分とは春夏秋冬、それぞれの季節



であるそうです。旧暦で元旦にあたる二月三日の節分に、一年の無病息災を願って豆をまく習慣ができたようです。

そしていよいよ、鬼に向かって、豆の代わりに玉を投げてもらいました。「私には無理だよ」と言われる利用者さんもらっしやいましたが、本番になると、皆さん一生懸命投げて下さいました。力が入りすぎた利用者さんの中には、鬼を追いかけながら、玉をぶつける方も…。まだまだ皆さんお若いなあ…と感じた一コマでした。

今年も、楽しく元気に、星の郷デイサービスの厄払いができました。

二月

三月は、こちらも毎年恒例の甘酒を作り、皆様に振舞わせていただきました。

最初のうちは、うま味が整えられず、「もう少し塩を入れた方がいいね」「これだと甘すぎるかもしれない」等、様々意見をいただきました。それらを参考に、味を調整する内、「これはおいしいね」と納得していただける物が作れました。

「もう一杯下さい」とおかわりされる方も多く、皆様「おいしかったよ」とお世辞も含みつつ(?)言ってお下さりよかったです。また、「昔は甘酒を作ったりしたけどねえ」と、思い出話に花が咲く場面もあり、穏やかな時間を過ごしていただけたと思います。



三月二十五日には、ボランティアの皆様方に、大正琴の演奏、フラダンス等、たくさんの内容を披露していただきました。どれも素晴らしい内容で、且つ普段なかなか身近では拝見できない事に、皆様大変喜ばれていました。また、利用者さんも一緒に参加しての歌や踊りを行なって下さり、「なかなか難しいねえ」と言われつつ、笑顔で参加されていました。

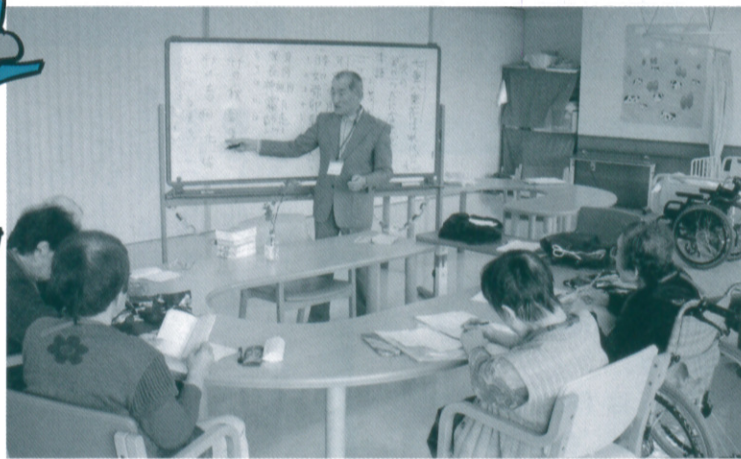


また、毎月、俳句の先生にボランティアとして来ていただき、様々、俳句の知識やポイント等について、学ぶ機会を設けさせていただいております。毎回、熱のこもった真剣かつ丁寧な指導を下さり、ご利用者様も真剣に、また楽しく、俳句により親しまれていること



様子です。また、いつも季節の花をご持参いただき、フロア内に展示させていただいております。  
また引き続き、貼り絵アートの先生に来ていただき、今の季節にあつた物を等、細かいご配慮の下、毎回素敵な作品を制作されております。  
地域の皆様、またボランティアの皆様方多くのお力を借りながら、様々ご迷惑をおかけする事もあるかもしれませんが、より一層努力して、

今後も利用者様が楽しく元気に過ごせるデイサービスを作って参りたいと思っております。今後とも、宜しくお願ひ致します。



デイサービスでは沢山の人の出会いがあります。その出会いの中で毎日が教訓の場となっている事に感謝しています。時代の流れの中で、人の心がどれ程に大切なものかを痛感すると同時に私達に求められているものが何なのか、どれだけ応えられているのだろうかといつも自分達の心に問いかけて悩んでいるのが現状です。

デイサービスの今年の抱負は、スタッフ各自が、初めてこの仕事に就いた時の熱意を思い出し、誠意と向上心を持ち続けていくことにあります。いつも豊かな心で相手を思いやる心を忘れず、温かい雰囲気と笑顔でゲストの皆様をお迎えし、安心して楽しんで頂ける「憩いの場」となるように、大切に努めていきたいと思っております。ゲストの皆様「星の郷に来てよかった。」と思っただけなのが私達が一番の願いです。



# 平成21年度(特養) 年間行事予定



毎月季節を感じて頂ける行事を計画していきます。  
これらの行事には、ご家族様や地域の皆様並びにボランティアの協力が不可欠となります。ご支援・ご協力をお願い致します。

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
ひな祭り	豆まき	新年会(初詣・お正月遊び)	クリスマスおたのしみ会	福祉作品展・紅葉狩り	秋祭り	敬老会	流しそうめん・花火大会	七夕	運動会	端午の節句	お花見会



★レクリエーション・クラブ活動の充実

各ユニット毎の外出レクやおやつレクを計画。前年度に引き続き書道クラブとそれに加え料理クラブ・俳句の会を行っていきます。

★ボランティアや小学生の訪問・福祉体験の受け入れ  
今年も大勢の方々とふれあいの機会をつくり、入所者様の笑顔が沢山見られる様にしていきたいと思えます。

★各ユニット毎「家族会」を行っていきます。

入所者様の担当職員より、ケアプラン(サービス内容)の説明をさせて頂きます。ご家族様のご意見やご希望を伺い今後のサービスに反映させて頂けたらと思っています。

★その他、毎月各ユニットごと趣向を凝らして誕生会を行っていきます。又、カラオケやゲームで身体を動かしたり、作品づくりで余暇を楽しく過ごして頂くよう計画していきます。

## 編集後記

毎日「寒い寒い」と、挨拶の様に会話していたら富士の山も霞がかかり遠く見え、桜・青葉の時季です。

第14号「いちばん星」は「桜」をテーマにした様な誌面上桜で満開です。今年は開花途中で花冷えが続きいつもの年より長く花見を楽しむ事ができました。

心地良い薫風で見事な花吹雪の中、水面のある所は花筏(イカダ)ができ、山の木々も芽を吹き「青山」そのもの。山が笑っている様です。

紫外線を気に掛けながら日の光を浴びに外に出てみませんか…。

### 編集スタッフ

安部川陽子 鈴木 健哲 竹川衣美子  
市川 直美 市川 水穂 尼ヶ崎健司  
森山由紀子 天野 昭子

